

危険ゼロ職場目指し 皆で労働災害防止を

川村建設(株)と
平成会

安全衛生大会開く

川村建設(株)さいたま市大宮区、川村都夫社長は10月24日、さいたま市北区の産業振興会館で安全衛生大会を開催した。社員や協力会の平成会ら約110人が参加。表彰式や安全講話を聞きながら、危険ゼロの職場を目指して一丸となって労働災害防止活動に取り組むことを誓い合った。



川村社長

実際には足場が倒れる報道なども聞かれましたが、われわれ平成会ではそういったこともなく、あらためて皆さまの意識が高まっています。毎年のようにお礼申し上げます。これから年末に向けて仕事も忙しくなると思

川村社長は、地震や集中豪雨など度重なる自然災害が頻発していることに触れた後、「天災は忘れたころにやってくる」といって、毎年のようにお礼申し上げます。これから年末に向けて仕事も忙しくなると思

次に表彰式へと移行し、優秀協力業者3社と優秀職長3人に川村社長の表彰状と記念品が贈られた。受賞者を代表して、川村社長は「徹底した確認と題したビデオが上映され、現場における新規入場教育がいかに大切かを伝えた。続いて安全の誓いを小林大作工務部長が読み上げ、①『安全行動推進運動・埼玉』の積極的な実施②全員参加による安全衛生教育の一層の推進

川村社長は、地震や集中豪雨など度重なる自然災害が頻発していることに触れた後、「天災は忘れたころにやってくる」といって、毎年のようにお礼申し上げます。これから年末に向けて仕事も忙しくなると思

休憩を挟んだ後、「入場初日を甘く見るな!」と題したビデオが上映され、現場における新規入場教育がいかに大切かを伝えた。続いて安全の誓いを小林大作工務部長が読み上げ、①『安全行動推進運動・埼玉』の積極的な実施②全員参加による安全衛生教育の一層の推進



堀川講師

について説明。プロジェクトを用いながら、埼玉第13次労働災害防止計画のポイントを述べたほか、墜落・転落災害防止への取り組みとして移動はしごや脚立の安全使用のポイント、法改正の概要に触れた。

大会は野口基工事部長の開会の辞によりスタートした。大会委員長として登壇した石川敬工務部長は、県内における建設業の死亡災害状況について「ことしはすでに9人の方が亡くなっており、憂慮すべき状況。そのうち5人が墜落・転落によるもの」と触れた後、「法改正で安全帯が墜落制止用器具に変わるなど安全衛生への取り組みが加速しています。自分の命は自分で守る意識を新たに、あすからの現場作業に取り組んでください。」



深井平成会会長 石川大会委員長



一丸となった労働災害防止活動を誓った



優秀協力業者表彰の受賞者



優秀職長表彰の受賞者

最後に吉村哲也工務部長が閉会の辞を述べ、安全衛生大会が幕を閉じた。受賞者は次のとおり(敬称略)。
▽優秀協力業者の部(株)大昭和工業(田中秋弘社長)、(有)あぶりー(櫻井元則代表取締役)、吉田工業(株)(増野達郎埼玉営業所所長)
▽優秀職長の部(服部一人(服部地質調査(株)、奥澤宜則(株)八洲電業社)、西村忠雪(有)松本鉄筋工業所)



安全の誓いを全員で唱和した